

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP		TRON		Hyperliquid		Mantle
中堅		Sei		MYX Finance		Spark
新規・大穴		Vision		Succinct		

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 8/8

本分析ガイドは、Coinmarketcap (CMC) サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#8	 TRON	Layer1	¥4,728,879,189,189	¥49.93	13.99倍 (ETH比)	4.65%
#11	 Hyperliquid	DEX	¥1,869,854,747,138	¥5,599.57	—	-12.18%
#36	 Mantle	Layer2	¥433,038,082,120	¥128.65	—	13.66%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap (CMC) で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**-2.51%**となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)

とは TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Tron : TRX (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：10億ドル買い戻し+USDT決済シェア首位獲得

8/4 Tronは18か月間で最大10億ドル規模の買い戻しプログラムを発表し、前回の1.2億ドルから849%増という大規模な供給削減策を実施。既に手数料焼却により年率-2.93%のデフレを達成しており、四半期ベースで総供給量の約1.5%減少が見込まれる。2025年5月にはUSDT供給量808億ドルでEthereum(738億ドル)を初めて上回り、ステーブルコイン決済の支配的地位を確立。BitTorrent買収による1億人超のユーザーベースも強み。今後2-3か月で第1四半期の買い戻しが本格化し、実需買い圧力と供給減少の相乗効果により需給バランスが急速に改善。

USDT決済需要の継続的な拡大と合わせて、時価総額の大幅な上方修正が期待される局面に入っている。

AIによる相場分析：TRX

TRXは長期的に上昇傾向ですが、直近では0.34ドル(約49円)から下げ、0.334~0.336ドル(約48.2~48.5円)が短期の支えになっています。ここを保てば反発しやすく、割れると0.331ドル(約47.8円)付近まで下げる可能性があります。中期では0.32ドル(約46.2円)や0.30ドル(約43.3円)が買いの目安です。

Hyperliquid : HYPE (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：DEX先物シェア75%+手数料収入全体の35%

分散型先物取引所として圧倒的な市場支配力を持つHyperliquidは、2025年7月に月間取引量3,200億ドル（前月比47%増）を達成し、DEX永続先物市場の75%以上のシェアを獲得。ブロックチェーン手数料収入ランキングでは全体の35%を占めて首位（2位Uniswap）となり、推定月間約9,300万ドルの手数料収入を創出。未決済建玉は約153億ドルで機関レベルの大口取引が活発化している。年内実装予定のCross-Chain Proof-of-Reservesにより機関投資家のコンプライアンス要件をクリアし、2-3か月後には未決済建玉の大幅増加が見込まれる。手数料収入の一部をトークンホルダーに還元する提案も検討中で、収益性の観点から現在の時価総額は過小評価されており、適正水準への修正が期待される。

AIによる相場分析：HYPE

HYPEは短期的に上昇中で、41.20ドル（約6,010円）を超えると42.00ドル（約6,130円）や44.50ドル（約6,490円）を目指す可能性があります。一方、39.00ドル（約5,690円）を割ると38.00ドル（約5,540円）、さらに36.50ドル（約5,320円）まで下がる恐れがあります。今は39.20~39.50ドル（約5,720~5,760円）が買いやすい押し目候補ですが、39.00ドルを下回ったら注意が必要です。

Mantle : MNT (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：URネオバンクQ3公開+取引確定高速化

MantleはイーサリアムL2として8/7に初期段階から積極的に貢献した方向け「UR」ネオバンクをローンチし、Q3には一般公開予定。「UR」はスイス系IBAN口座開設、多通貨対応（EUR/CHF/USD/RMB）の外貨送金など実用的な銀行サービスを提供。8/6のSuccinct Prover Network統合により取引確定時間が7日から1時間へと改善され、従来のDeFiの枠を超えた利便性を実現。財団は3.4億ドル相当のETHを保有し巨大な資金力を誇る。2-3か月後には初期ユーザー10万人獲得を目標とし、各ユーザーの担保預け入れにより大規模な新規需要が発生する見込み。Q4には大手金融機関との提携も交渉中で、DeFiと伝統金融の架け橋として市場からの再評価が期待される。

AIによる相場分析：MNT

現在のMNTは強い上昇が続き、1.02ドル（約160円）が短期的な支え、1.13ドル（約177円）が直近の壁です。1.13ドルを超えれば1.20ドル（約188円）や1.33ドル（約208円）まで上昇の可能性があります。1.02ドルを下回ると0.90ドル（約141円）付近まで下げる恐れがあります。買いは1.02~1.05ドル（約160~165円）の押し目が狙いやすい状況です。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 8/8

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap (CMC) における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#56	 Sei	Layer1	¥249,658,548,247	¥43.18	53.86倍 (SOL比)	-8.29%
#177	 MYX Finance	DEX	¥35,346,871,036	¥224.06	52.90倍 (HYPE比)	1349.25%
#309	 Spark	Lending	¥18,402,017,335	¥16.36	32.55倍 (AAVE比)	19.71%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、-2.51%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIRサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、**とは** 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Sei : SEI

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：CircleのUSDC統合とMetamask統合によりUX大幅改善

DEX特化の高速L1ブロックチェーンSeiは、8/6にCircleのネイティブUSDCブリッジ (CCTP V2) を統合し、13番目の対応チェーンとなった。燃焼・再鑄造プロセスによる安全な資産移動で流動性が直接増加し、MetaMask (8/6) とBackpack (7/31) 統合によりUXも大幅改善。大型アップデートとして記載されるSei v2は3段階でローンチが進行中で、2025年の最終フェーズ完了により既存Ethereumプロジェクトの移植コストが90%削減される設計。2-3か月後には高頻度取引を必要とする主要DEXプロジェクト5社以上の移行が見込まれ、TVLの急速な拡大が期待される。高速処理とネイティブUSDCという組み合わせは市場で希少であり、「高速L1」カテゴリでの地位確立により時価総額の上昇修正が視野に入る。

MYX Finance : MYX

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：V2でETH/SOL/SEIクロスチェーンスワップ実現

マルチチェーンDEXのMYX Financeは、今後実装予定のV2で、Ethereum・Solana・Sei間のワンクリックスワップを予定。現在議論中のMIP-12提案では取引手数料の最大60%焼却が検討されており、収益をトークン価値に直接還元する設計。クロスチェーンDEX市場は推定3,000億ドル規模で、わずか1%のシェア獲得でも月間30億ドルの取引量となる計算。V2ローンチ時には初期採用者向けインセンティブプログラムによりTVL急拡大が見込まれ、取引量増加と手数料焼却の相乗効果が期待される。現在の時価総額は極めて小さく、実需ベースの買い圧力により大幅な価値上昇の可能性を秘めている。V2の成功により本格的な価値検証フェーズに突入する。

Spark : SPK

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

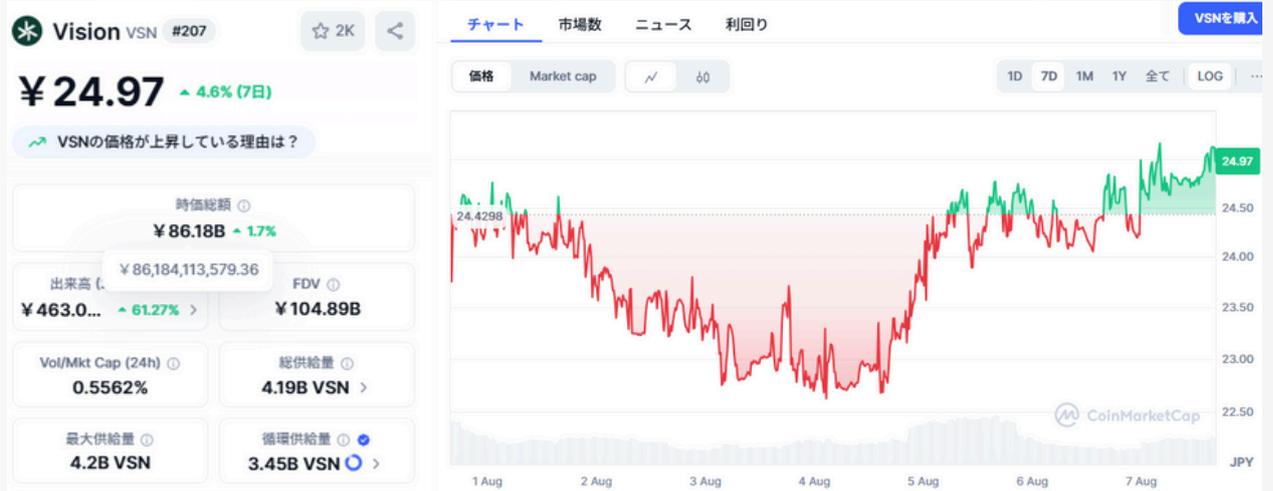
注目ポイント：Overdrive Rewardsで金利40%削減実現

貸借プラットフォームのSpark Protocolは、8/5にOverdrive Rewardsを導入し、借入残高に応じてSPKを即時発行して金利を相殺する革新的な仕組みを実装。これにより平均貸出APR（年利）「借り手が支払う利息率」が5.3%から3.1%へと低下し、競合他社と比較して圧倒的な競争力を獲得。同日にCoinbase CEO Brian Armstrong氏が支持を表明し市場の注目度が急上昇。Q4には機関向けクロスチェーン再担保口座の提供を計画しており、プロトコル収益の一部をSPK買い戻しに充当する提案も検討中。2-3か月後には低金利を武器に貸付残高の大幅拡大が見込まれ、大手CEX上場の可能性も取り沙汰される。貸付残高の成長とトークン需要が連動する設計により、持続的な価値上昇メカニズムが確立されつつある。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 8/8

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング250位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	上昇率 7days
#207	 Vision	Layer2	¥86,184,113,579	¥24.97	5.02倍 (MNT比)	4.6%
#228	 Succinct	Zero Knowledge	¥29,512,228,414	¥151.34	4.86倍 (IMX比)	13.41%



参照元：Coinmarketcap

[大穴銘柄] Vision : VSN

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：MiCAライセンス3種保有＋700万ユーザー基盤

ウィーン拠点のBitpanda取引所が発行する Web3パスポートトークンVisionは、EU規制準拠のDeFi・決済セクターを主戦場とする。取引所は既に700万人のユーザーベースとMiCAライセンス3種を保有し、規制面での圧倒的優位性を確立。2025年後半予定のPSD3（改正決済指令）施行を睨み、Web3決済APIの提供を計画。2-3か月後にはベータ版APIの提供開始が予定され、既存ユーザーの10%が月間100ユーロの決済利用を開始するだけでも大規模な取引量が発生。

EU圏における規制順守型Web3決済の先行事例として、市場からの注目度が急速に高まることが期待される。

[新規銘柄] Succinct : PROVE (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：TVS40億ドル以上＋累計500万ZK証明実績

ZK-SNARK生成を外部委託できる「Proof-as-a-Service」を提供するSuccinct Network

は、8/5のメインネット稼働で既にTVS (Total Value Secured) 40億ドル以上、累計500万件の証明、35以上のプロトコル統合という圧倒的な実績を達成。Polygon・Celestiaなど大手プロジェクトとの既存統合を基盤に、今年後半は主要L2やDeFiプロトコルとの追加連携を推進中。ZK証明市場は2025年に1億ドル規模への成長が予測され、2-3か月後には新規統合の発表が相次ぐ見込み。 ステーキング率上昇による実質流通量減少と需要急増の相乗効果により、現在の極小時価総額から大幅な価値上昇の可能性を秘めている。

AIによる相場分析：PROVE

現在のPROVE/USDTは1.00ドル（約150円）付近で上下の攻防中です。この水準を上回れば1.08ドル（約162円）や1.20ドル（約180円）まで上昇の可能性があります。下回ると0.95ドル（約142円）や0.85ドル（約128円）まで下げる恐れがあります。売買が落ち着きつつあり、近く大きく動く展開が予想されま

す。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudo-i-platform.co.jp/>